

「ナベツル、マナツルの新越冬地形成等に関する基本的考え方（案）」に対する意見の募集結果について

連番	箇所	ご意見要約	ご意見理由	ご意見に対する考え方・対応
1	全体	集中は保全的に管理し易い面あり。出水に鳥インフル研究治療及び野鳥の研究機関を設置し世界に研究保全情報の発信(積極的保護)ただ現状の出水はいびつ。自然な形に近い彩餌と峙の形成分散が必要。	無	御意見の趣旨は今後の計画作成等の参考とさせていただきます。
2	P1、11行目	「本文書に述べる基本的な考え方は」を「本文書は」としたらどうか。	本文書で十分であり、また、P1・13行目に「基本的な」との表現があるため。	御指摘のとおり修正します。
3	P1、13行目	「関係者の共通認識としを」を「関係者の共通認識のもと」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	本「基本的考え方」を「関係者の共通認識とする」意味のため、原文どおりとします。
4	P1、15行目	「出水」を「鹿児島県出水市(以下「出水」という。）」としたらどうか。	初見で正確に表記した方がよいと思われるため。	御指摘のとおり修正します。
5	P1、26-27行目	「このことが一極集中を助長し感染症の発生等による種の絶滅リスクにつながっている。」について、配慮(緩和)した表現がよいのではないか。	「助長し」や「つながっている」という表現はやや批判的であり、地元(出水)のこれまでの苦悩や努力に対する配慮に欠けるのではないと思われるため。	御指摘を踏まえ、「しかし一方で個体数が一極集中することにより、感染症の発生等による種の絶滅リスクが懸念されている。」と修正します。
6	P1、30行目	「今回」を「今般」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	「今回」と「今般」は同じ意味であり、公用文においても日常一般のわかりやすい表現を心がける観点から原文どおりとします。
7	P1、31行目	「これらツル類」を「ツル類」としたらどうか。	ナベツル、マナツルを初見でツル類と定義しており、重複していると思われるため。	御指摘のとおり修正します。
8	P1、35行目	「現代の日本」を「今日の日本」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	「現代」は「現在の時代」という意味であり、ここでは適切と考えます。
9	P2、6行目	「鹿児島県出水市」を「出水」としたらどうか。	初見で出水と定義したため。	御指摘のとおり修正します。
10	P2、9行目	「主な絶滅リスクとして」の前に適切な接続語(また、等)が必要では。	唐突感があるため。以下、同じ(P2・15行目)	ナベツル、マナツルは絶滅危惧種であることから、主な絶滅リスクについて背景に記載することに唐突感はないと考えられるため、原文どおりとします。
11	P2、14行目	「出水市」を「出水」としたらどうか。	初見で出水と定義したため。	御指摘のとおり修正します。
12	P2、20行目	「江戸時代までに」を「江戸時代までは」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	御指摘のとおり修正します。
13	P2、22行目	「さらに」を「さらには」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	特に意味が変わるものではないと考えられるので原文どおりとします。
14	P2、27行目	「出水市」を「出水」としたらどうか。	初見で出水と定義したため。	御指摘のとおり修正します。
15	P2、37、38行目	「集中化による」を「集中化に伴う」としたらどうか。	集中化による、感染症による、～によるが続くため。	御指摘のとおり修正します。
16	P3、2行目	「この時の」を「このときの」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	「とき」は、時点を示す場合は「時」を用い、条件を表す場合は「とき」を用いるため、本文では意味合いから、原文どおりとします。
17	P3、15行目	「のぞき」を「除き」としたらどうか。	より適切な表現と思われるため。	御指摘のとおり修正します。
18	P3、17行目	目標値のあとにかっこ書きで具体的な数値を入れたらどうか。	より分かり易いと思われるため。	前段落で具体的な目標値について記載しているため、原文どおりとします。
19	P3、26行目	検討会の具体的な説明(省内に、〇〇をメンバーとするなど)は必要ないか。	検討会の説明、位置づけ等の説明が必要と思われるため。	ご指摘を踏まえ、「有識者、関係行政機関等から構成される」を加筆しました。
20	P3、31行目	「第一段階の目標として」を「第一段階として」としてはどうか。	当該文章の文末に、目標とする、との表記があり、重複記載を避けるため。	御指摘のとおり修正します。
21	P4、17行目	「工夫」を「環境整備等」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	御提案の表現では長期的視野の内容がより限定されてしまうため、原文どおりとします。

連番	箇所	ご意見要約	ご意見理由	ご意見に対する考え方・対応
22	P4、19行目	「出水が、今後も変わらず、」を「出水は、引続き(or今後とも)」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	特に意味が変わるものではないと考えられるので原文どおりとします。
23	P4、20、21行目	「対策のみに集中せず」を「対策に加え」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	御指摘のとおり修正します。
24	P4、22行目	「知恵」を「ノウハウ」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	同様の表現がある場合にはできるだけ日本語表現を優先することから原文どおりとします。
25	P4、28行目	「懸念がある」を「懸念も想定される」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	御指摘のとおり修正します。
26	P4、29行目	「事実」はあまりにも抽象的で漠然としている。	より具体的で分かり易い表現が必要と思われるため。	御指摘を踏まえ、「事実」を「科学的情報」と修正します。
27	P4、29行目	「情報共有」を「情報の発信・共有」としてはどうか。	共有の前に、適切な情報の発信が必要と思われるため。	「情報共有」には情報を伝達することも含まれるため、原文通りとします。
28	P4、30行目	「地域住民に理解」を「地域住民の理解」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	御指摘のとおり修正します。
29	P5、1行目	「生物多様性保全活動の推進を図る」を「生物多様性保全活動推進に活用する」としてはどうか。	本文の見出しに合わせた方がよいと思われるため。	御指摘を踏まえ修正します。
30	P5、16行目	「不足している」を「十分でない」としてはどうか。	より適切な表現と思われるため。	御指摘のとおり修正します。
31	全体	地域住民、特に農家の方々の理解・協力は、トキ・コウノトリ同様重要な事柄ですので、その辺りを参考にしつつ、速やかに新越冬地の確保を実施して頂きたい。	無	御意見の趣旨は今後の計画作成等の参考とさせていただきます。
32	P4、18-22行目	「出水の現状を改善する方策として新たな越冬地を形成する」に関して出水で越冬するツル類の大半が人工給餌に頼っている現状を考慮し、越冬候補地の抽出や新たな越冬地への誘導羽数等の目標を設定するための調査研究を進めるといった、新越冬地形成のための今後の方針を盛り込むべき。	タイトルには「出水の現状を改善する方策として新たな越冬地を形成する」とあるが、肝心の新越冬地形成のための方針が記されておらず、今後どのように進めていくのか分かりにくい内容となっている。今回の「ナベツル、マナヅルの新越冬地形成等に関する基本的考え方」では、出水への一極集中状態をさげ、「可能な限り給餌に頼らない自然な状態でツル類が越冬できる環境」を形成、維持することを目標に設定しているつまり、「出水の現状を改善する方策として新たな越冬地を形成する」ことは、今回の事業で重要な内容だと考えられる。そのため、「越冬候補地のリストアップや新たな越冬地形成のための調査研究を進める」といった基本的な方針はここで記すべきだと考える。	御意見の趣旨は今後の計画作成等の参考とさせていただきます。
33	P3、39行目	最終目標に国内だけでなく、東アジア全体のナベツルの越冬環境保全を挙げるべきではないか。	4) 基本原則の(1)に「国際的視野に立つ」とあるのだから、最終目標にも触れられているほうが自然ではないか。	本文書は、国内でのナベツル、マナヅルの新越冬地形成等に関する基本的な考え方を示すものです。そのため、具体的目標の設定は、国内での取組について記載しており、原文どおりとします。
34	P4、8-19行目	基本原則の順番について再検討が必要と感じる。	7つの基本原則が挙げられているが、挙げている順番の意図がわからない。(2)長期的視野に立つ、(6)順応的管理は、どちらも方法論であり、並べられているほうが自然に感じる。(4)と(5)はどちらも出水を含めた対象地での方針と思われるが、わざわざ2つに分けている理由もよくわからない。また、(7)基本的な情報収集、が一番不足している部分でもあり、最初に挙げるべきではないか。	本基本原則は、すべての項目を配慮する事項として同等に記載しているものです。そのため、原文どおりとします。
35	P4、3、21行目	出水の対策について明確にすべきではないか。	「出水での対策にも十分な対応を行う」を述べているが、何をイメージしているのかははっきりしない。もし、明確な目標があるならばそれを示すべきであるし、そこから作っていくのであれば、そのように示すべきではないか。4ページの3行目に「できる限り給餌頼らずに生息できる良好な環境を形成・維持すること」とあげられているが、これが最終目標なのだろうか(この目標に関して地域の合意形成はできているのだろうか)。	本文書は基本的な考え方を示しているものであり、今後、基本原則に配慮し、行動計画の作成を行い、対策の明確化を図ってまいります。